長洲町立長洲小学校 校長便り No.9

みんなの居場所の裏面は、小学生にと 族の団らんの話題にしてみてください。 会話が広がります。

令和4年5月20日(金)

が、それらを一つ一つ自分たちで解決していくこと 学級の自治とは、学級の中で起こる様々な問題を自 私たち教師が何もかも「してあげて」いては、子ど はなく、判断を誤りそうになれば介入します。ただ、 で、より良い学級を形作っていく訳ですね。もちろ い事悪いこと、多くのことが学級では起こります の社会を支える一人として成長していくのです。良 会 です。その中で多くのことを学びながら、将来 居場所づくりの取組の一つに「自治的な学級集団の 本です。そして、このような学級を経営していくの や助け合いが成立するからです。協働性といっても の自尊感情も高いという実態があります。学び合い 分たちの手で解決していくことなのです。このよう も達は成長しませんし、最悪の場合指示待ちの状態 形成」があります。子ども達にとって、 学級 は、 社 いいでしょう。安心して自分を表現できる場所とし な自治機能が高い学級では、学力も高く、 一人一人 い取組に挑戦しよう、という気持ちは育ちません。 になってしまい、 自分から課題を解決しよう、 新し ん担任教師が指導や支援を行わないということで きる居場所でなければならない。」と考えています。 か担任教師であるのです。 ご学級が存在することは、学校において基本中の基 私は学校経営の基本構想において「学校は安心で

達が担任の先生と共に新たなチャレンジをと願っ 組むということは、充実感がありやり遂げた後は達 **戍感もあります。コロナ禍ではありますが、子ども** 自分達で主体的にみんなと協力して何かに取り

きると思います

# 学級の自治って何?学級経営を考える

す。「学級経営」って言われても、普通なら「経営」 師と察しはつきます。子ども達が安心して心身を奏 言葉や学校現場でしか通じない言葉をよく使いま でしょう。ちょっと砕けた言葉で考えてみます。 ねることのできる場所づくりが学級経営といえる ょうね。ま、学級を経営する人と考えれば、担任教 C聞けば会社のそれを思い浮かべるのが普通でし 学校現場でよくある話です。私たち教師は難しい

## 相談してみませんか? 子育ての悩み 「特別支援教育」の拡充

彼女の持つ個性なのでしょう。 除してもすぐに散らかるようです。私達からは 仕事のモチベーションも上げてくれます。この うことです。安心するのかこだわりなのか、掃 娘に一言言いたいのは「掃除を頑張れ!」とい るようです。頑張っている娘の姿は、私自身の て家事を切り盛りし、パートさんとして仕事も しています。人と接する仕事で大変充実してい ゴミ屋敷、等と揶揄されていますが、それも 私の娘は25歳、もう結婚して夫婦で協力し

囲で対応しています。この対応を「合理的配慮」 多くの手立てを準備して待っています。 とって最善の取組をご一緒に考えることがで さに対応するためにコーディネーターも在籍 ださい。長洲小学校には、子ども達の学びづら 思うようなことがあれば、学校職員にお尋ねく ってきます。お子様の成長の中で「おや?」と い、私たち教師の見取りによっても対応が変わ イドで、個人で違います。保護者の考え方や願 といいます。この合理的配慮は正にオーダーメ が難しい「学びづらさ」については、可能な範 のが特別支援教育です。一言でいうならば「オ すが、そういった個人の特性の凸凹に対応する れぞれ「こだわり」や「得意不得意」がありま としてすべて学校で展開されています。人はそ 様の「気になること」があればご相談ください 覚えるのが苦手」「テンション高め」…。 お子 とを忘れる」「数字を覚えるのが苦手」「文字を げられますね。「こだわり」「コミュニケーショ ます。特性として考えると次のようなことが挙 ンが苦手」「空気が読めない」「さっき言ったこ しています。気軽にご相談頂ければ、お子様に -ダーメイド」でしょうか。 | 斉指導では対応 これらの実態に対して、現在は特別支援教育

個性は「特性」として捉えられることがあり

中でウジ虫が這いまわる状況に、母は悲しかったのではないかと今 になって想像します。当時の私は「やっと苦しみから解放される!!! 次の日、私は母と一緒に学校に行きました。あまりの異臭と机の

という安堵で一杯でした。後になって聞かされた母の一言です。 その時は体調が悪かっただけなのですが、確かに母の言うことに 「敦が好き嫌いするとが悪か。」

うな対応をするだろうと考えた時、こう言うだろうと思います。 も一理あります。今、私自身が教職の道に進み、私だったらどのよ めません。でも、体調が悪いのなら話は別ですが…。」 「アレルギーがあるならともかく、ただの好き嫌いは基本的に認

か。子どもの出すサインに気が付かなかったのでしょうか。このこ なのに、あれだけの異臭の中で本当に気が付かなかったのでしょう かなかったのでしょうか? 教室環境は担任教師の最前線の仕事場 ず、味わって全てを頂きなさい。」と。 分の子どもに言います。「食べ物に対する感謝を忘れず、好き嫌いせ すことであり、「いただきます。」の挨拶につながるのです。今も自 とは何かのヒントだったような気がしています。 今では良い思い出としてありますが、当時の担任の先生は気が付 (つづく)

## シリーズ「自分を語る」#9

生時の様子は、担任の先生から見ると、どちらかというと「おとな 体調不良が襲います。この出来事が澤田少年を極限まで追い詰める ことになるとは想像すらできませんでした。その事件とは!? い」と言った方があてはまるかもしれません。そんな澤田君を、 小学校1年生時に、忘れもしない件が起こります。私の1・2年

良に対する考え方も成熟した社会ではありませんでした。 私自身も てくれませんでした。今の時代と比して偏食やアレルギー、体調不 食べることができませんでした。しかし、それを周りの友達は許し で卵、嫌いじゃないんですよ、好きなんですよ。その給食のとき、 たまたま体調が悪かったのか、お腹が痛かったのか、<br />
私はゆで卵を 「食べなきゃ…」って思い、そしてとった行動は…。 私は食べきれ ある日の給食のとき、メニューに「ゆで卵」がでました。私はゆ

話しました。今になってもたまに話すんですよ。母も只ならぬ雰囲 で嫌で仕方がなくなっていました。ある日の夜、私は母にその事を 気に驚いたということを。 が飛び交っていました。私は毎日その事で悩み、学校に行くのが嫌 なかったゆで卵を、机と引き出しの間に押し込んでしまいました。 数日後、卵が腐って異臭を放ち始めます。私の机の中からはハエ

命を頂く以上、残さず食べるのが基本であり、感謝の気持ちを表

)